

カレード通信 Vol.47

2021年
9月号

小澤館長のコラム Vol.3

「野々市はミンミンゼミが少ない」その理由は「平坦地だから？」

夏は短い、激烈に暑いので大変な季節だ。そして夏といえばセミ。セミといえば……、皆さんはどの種類を思い浮かべますか？私はやはりミンミンゼミだ。しかし野々市で見たり聞いたりするセミはほとんどアブラゼミである。カレード内の桜の木にもたくさん止まっている。ミンミンゼミは一般的なセミだと思っていたが、このあたりでは珍しい。どうしてだろうと考えてみたがよくわからない。いくつかの本で調べるとミンミンゼミの生息地は山林と書かれているものが多かった。市街地でも比較的樹木の密集した場所にいるようだ。野々市は平坦地でそういう場所が少ないからだろうか。まあ、あの「み～ん、み～ん……」を聞くと気分的に暑さが増すので聞かない方が過ごしやすいからいい。夏も終わりに近づいているが、夏の終わりを告げるセミはツクツクボウシである。あの声を聞くとそろそろ秋だな、と涼しい季節が恋しくなる。 つづく

図書館展示情報

一般展示 秋を愉しむ

まだまだ暑い日も続きますが、徐々に秋の涼しい空気を感じられるようになる季節ですね。食欲の秋、芸術の秋、読書の秋、スポーツの秋…秋は楽しいことが満載です。今月は、そんな秋を存分に愉しむための本を集めてみました。



YA展示 新しい自分を見つけよう

夏休みも終わり、毎日をなんとなく過ごしてしまっているそこのあなた！
過ごしやすい気候になってきた今、なにか新しいことを始めてみませんか？
できることが限られているように感じる最近ですが、意外と近くにたくさんの「新しい」が眠っているかも…ぜひ自分に合った「新しい一冊」を見つけてください！

児童展示 からだってすごい！

夏休みが終わって、みんなはつかれていないかな？つかれていても、よく食べよくねたら、また元気になるよね。
人のからだってすごい！というわけで、からだのいろんなぶぶんやからだから出るものにまつわる本をあつめました♪

このほか館内の様々な場所でも展示をしています。ぜひこの機会にお立ち寄りいただき、色んな本と出会ってください♪



開館時間短縮期間延長のお知らせ

「まん延防止等重点措置」の適用期間延長に伴い、**9月12日(日)まで**、開館時間を**9時～20時**と短縮させていただきます。

9月 September

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4 陶芸教室
5	6	7	8	9	10	11 陶芸教室
12 カレードシネマ	13	14	15	16 中乃波木展 ～10/19	17	18 陶芸教室
19	20	21	22	23	24 料理教室	25 陶芸教室
26 かがく実験教室	27	28	29	30		

9月カレードイベント情報！

野々市市制施行10周年記念
中乃波木 読む写真展
—い〜じ〜大波小波の世界—

会期 9月16日(木)～10月19日(火)
9:00～19:00(入場無料)
会場 市民展示室・オープンギャラリー

中学時代に母・十七波氏と旧柳田村(現在の鳳珠郡能登町)に移住してからの母娘の暮らしをつづった「い〜じ〜大波小波(2019年ロクリン社)」の世界観を約100点の作品と共に表現。中乃波木氏だからこそ表現できる写真×物語の世界を、見て、読んで、お楽しみください。

カレードシネマ「裸の大将放浪記」

日時 9月12日(日)
13:30～15:30(13:00開場)
会場 音楽スタジオ
「裸の大将放浪記 山下清物語(1981年製作・120分)」を上映します。



カレードPOPコンテスト!!

あなたがおススメする本のPOPを描いて、みんなに読んでもらおう！
9月23日(木・祝)から募集開始！
詳細は館内に設置中のチラシをご覧ください。

8月イベント報告

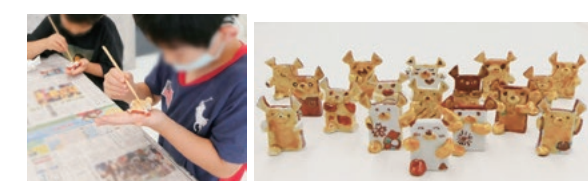
おはなし会メドレー

7月と8月の毎週土曜日に、カレードサポーターズクラブによるおはなし会を開催しました。毎週いろんなお話を聞くことができ、子どもたちは楽しそうに聞き入っていました。



九谷焼のオリジナルのっティを作ろう

8月3日に、九谷焼ののっティに絵付けをするイベントを行いました。皆さん思い思いに絵付けをし、世界に1つだけののっティができ、嬉しそうでした。作品も綺麗に焼き上がりました♪



第16回 市民歴史講座「寺子屋教室！野々市を知ろう歴史編」

8月14日に、小学生向けの市民歴史講座を開催しました。知らなかった野々市の歴史をたくさん知ることができ、より野々市を身近に感じました。



今月のおすすめ本

『エンド・オブ・ライフ』

著者：佐々 涼子 出版社：集英社インターナショナル 分類ラベル：490.1/4

何人もの患者を看取ってきた48歳の訪問看護師が自らががん告知を受け、自身の終末期に向き合うこととなる。病室に拘束され延命治療で生かされるのではない在宅医療のなかで、精一杯生きるために治療を選び余命をいかに過ごすかということは本人や家族にとってどれほど意味のあるものなのか。様々な家族を見てきた彼が選んだ生き方とは……。

著者が友人でもある彼に望まれて家族と共に同行する取材を続け、患者に接し従事していた頃との心のありようの変化を見届けて書かれた感動のノンフィクションです。

現在、身内に近い境遇の方がいらっしゃるご家族やご自身の終末医療について、あらためて考えさせられるのではないのでしょうか。

綺麗なカバー写真や表題のブルーの文字が生き生きの清々しさを感じさせる、装丁も素敵な一冊です。

こちらの本は、カレードとカミーノ図書コーナーに1冊ずつ所蔵しています。



野々市市立図書館 野々市市民学習センター
学びの杜のいちカレード

【開館時間】 9:00～22:00
【休館日】 毎週水曜日
年末年始(12/29～1/3)
特別整理期間

〒921-8845
石川県野々市市太平寺4丁目156番地
TEL: 076-248-8099
FAX: 076-248-8175
HP | <https://www.kaleido-nono1.jp>

